第47回
令和8年度

日本大学
軽井沢公開講座

日時 令和8年 **9/26(土)** 13:00～16:10

場所 **日本大学 軽井沢研修所**
〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1052-1
電話 0267-42-2401

●募集人員 / 100名

●参 加 費 / 無　料

●参加対象 / 軽井沢町及び近隣在住者、本学学生・生徒及び教職員

講座 1

開演時間　13:10～14:30

変わるお金の常識
― マーケットから読む世界とお金 ―



商学部　准教授
簗田 優
（やなた すぐる）

講座 2

開演時間　14:50～16:10

糖 尿 病
― ならないためにできること、なってしまったら気を付けたいこと ―



薬学部 助 教
菅野 淳史
（かんの あつし）

左記のQRコードからお申し込みサイトへアクセスしてください。
電話でのお申し込みをご希望の場合には、下記のお問合せ先にご連絡願います。

案 内 図



お問合せ
日本大学本部学務部学務課
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
TEL.03-5275-8115　FAX.03-5275-8315

主催／日本大学　後援／軽井沢町・軽井沢町教育委員会

講演概要

講座 1

変わるお金の常識　― マーケットから読む世界とお金 ―

お金にまつわる「常識」は、思いのほか移り変わるものです。かつて日本は物価の高い国で、海外に出れば、多くの国が安く感じられました。それが今では、世界から見た日本は、指折りのお得な国になっています。各地が世界各国からの旅行者でにぎわっているのは、その裏返しでもあります。

一方、国内に目を向けると、日経平均株価はバブル期の最高値を超えて史上最高値を大幅に更新し、不動産価格も急激に上昇するなど、資産をめぐる風景は様変わりしました。長らく動かなかった給与も、ようやく上がりはじめています。若い世代にも富裕層が広がっています。同じお金の話でも、国内から見るか世界から眺めるか、そして何に目を向けるかで、見えてくる景色はずいぶん違ってくるのです。

こうした変化の背景には、為替や金利だけでなく、各国の政治や世界の地政学の動きまで、いくつもの要因が複雑に絡み合っています。本講座では、さまざまな金融市場の動きを手がかりに、移り変わるお金の常識を、世界のなかの日本という視点から読み解きます。専門的な知識は前提としません。日々のニュースや暮らしのなかで感じる素朴な疑問を入り口に、できるだけ身近な話題に引きつけてお話しします。

世界という物差しを当ててみると、見慣れたお金の風景も、思いがけない表情を見せてくれます。そんな時間をご一緒できればと思います。

講座 2

糖尿病　― ならないためにできること、なってしまったら気を付けたいこと ―

厚生労働省発表の令和6年「国民健康・栄養調査」の結果によると、日本において“糖尿病が強く疑われる者”は約1,100万人と推計され、平成9年以降継続して増加しています。

糖尿病はいわゆる生活習慣病であり、また、年齢を重ねるごとに“糖尿病が強く疑われる者”の割合が増えていくのも特徴です。糖尿病は様々な病気の引き金にもなり、また、合併症がクオリティ・オブ・ライフ（生活の質、人生の質）の低下に関わってきます。

糖尿病を含め、病気には“ならないこと（病気を未然に防ぐ）”が重要とされてきていますが、なってしまったとしても生活の質をなるべく落とさないように過ごしていくことも可能になってきています。

今、糖尿病ではない方にも糖尿病で治療されている方にもお役に立てる情報について、エビデンス（科学的根拠）を基に作成された最新のガイドラインの内容に沿ってお伝えできればと思います。